

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 小平市の図書館が市民の宝物として愛され続けるために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市には、8館3分室の図書館があり、15分歩けば図書館が利用できる図書館ネットワークが完成しています。このことは小平市の大きな魅力の一つだと思います。

これからの図書館は、地域の情報拠点として重要な役割を担うことはもとより、子どもの読書離れや少子高齢化などの時代の変化に対応することも求められます。

また図書館は誰でも一人で気軽に立ち寄れる場所でもあります。一人でも多くの市民が足を運び利用し、人生、暮らしを豊かにするために以下質問します。

1、小平市の図書館をどのような場所にしていきたいですか。展望をお聞かせください。

2、時代のニーズや地域のニーズに対応していくためにどんなことが必要だと考えますか。

3、図書館を運営するうえで、専門的な知識や技術はとても重要です。司書を配置するなど、専門性を確保するためにやっていることをお示してください。

4、地区図書館は地域のニーズに合わせた独自の事業が展開できる仕組みになっていますか。

5、図書館は、家庭や学校以外に安心して身を置く場所として大切な役割を担うことがあります。2015年8月に鎌倉市の図書館から、「もうすぐ二学期。学校がはじまるのが死ぬほどつらい子は学校を休んで図書館へいらっしやい」という旨のメッセージが発信され話題になりました。小平市の図書館でも同様の発信は可能ですか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

平成 30 年 5 月 28 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)